



病院長就任あいさつ

病院長 矢野 哲

当院御利用の患者・御家族の皆様へ、新任の御挨拶を申し上げます。

私は、平成30年4月1日付けで病院長を拝命致しました矢野哲（やの てつ）と申します。昭和55年に東京大学を卒業し、大学病院で産婦人科医として診療、研究、教育を行ってきました。直近の前職は、当院と同じ新宿区内にある国立国際医療研究センター病院の副院長でした。

すでに御案内のように、平成26年4月に全国の社会保険病院等（社会保険病院、厚生年金病院、船員保険病院）は、独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）が直接運営する病院グループとなりました。当院も長らく皆様に親しまれてきました「社会保険中央総合病院」という名称から「東京山手メディカルセンター」へと改称されました。



これまで当院では、東京都区西部二次医療圏の急性期病院として最善の医療の提供に邁進して参りました。現在も国内最大級の炎症性腸疾患センターを擁する消化器内科、大腸肛門病センターを擁する大腸・肛門科、腹腔鏡手術の得意な消化器外科、カテーテルアブレーションによる不整脈治療が得意な循環器内科、あらゆる特殊な呼吸器疾患に対応できる呼吸器内科、整形外科領域全般をカバーできる整形外科と脊椎脊髄外科等々、一騎当千の優秀な専門医がそろっています。その他の診療科の部長も優れており、最近刷新しました当院ホームページの診療科案内のサイトを是非御覧下さい。

また、私と共に国立国際医療研究センター病院から乳腺外科の橋本政典先生も副院長として着任しました。来春には、形成外科と精神科を新たに立ち上げます。暫定的に形成外科は毎週火曜日、精神科は毎週月曜日に外来を開きました。昭和22年11月に「社会保険山手病院」として内科、外科、産婦人科、歯科の4科で始まった当院も、これで日本専門医機構が定める全診療科目がそろふこととなります。乳癌手術時には、乳房同時再建も可能となります。

また、昨今急増している精神疾患、認知症を合併した患者の皆様にも対応できるようになります。産婦人科においても内視鏡手術や婦人科癌手術の専門医を迎え、さらに幅広い医療を展開して参ります。

当院は、最善の医療を継続的に提供し地域住民の皆様への健康増進と疾病克服に対する多様な御要望にお応えしていくことにより、地域の中核病院として社会に貢献することを理念としております。引き続き倍旧の御愛顧を賜りますよう何卒宜しくお願い申し上げます。